

## 令和8年度町政運営基本方針並びに予算編成について

### **【町政運営基本方針】**

昨年4月に町長に就任して以来、私は、国全体がこれまで経験したことのない、少子高齢化や長引く物価高騰など、社会経済環境が絶えず変化し続けている中であっても、「持続可能なまちづくりを行う」よう、そして「未来への安心と希望に満ちたまちを築く」よう、5カ年の町政運営の道しるべとなる「高根沢町地域経営計画 2026」を策定するとともに、「新庁舎整備」、「産業団地の整備」といったプロジェクトを、着実に進めてまいりました。

「高根沢町地域経営計画 2026」の初年度にあたる令和8年度におきましては、6つの政策分野、17の基本目標を達成するための取組みを軌道に乗せるべく、「持続可能なまちづくり」の理念のもと、「ヒト」、「モノ」、「カネ」の見通しを常に立てながら、着実に、堅実に、未来への投資を行ってまいります。

新庁舎につきましては、実施設計が完了し、いよいよ建設工事に着手します。DXによる町民の利便性向上はもとより、行政運営の効率化も含め、町制70周年である令和10年の開庁に向けて、事業を進めてまいります。

産業団地につきましては、本年度基礎調査が完了し、令和8年度は事業実施主体が決定されるとともに、用地交渉及び実施設計に着手することとなります。令和10年度の造成開始、令和12年度の分譲完了を目指し、事業を進めてまいります。

人口減少、少子高齢化対策につきましては、本町の特性を踏まえ、「転出抑制」に重きを置き、町民に「高根沢町に住み続けたい！」と思っただけのような、「子育て環境、教育環境の充実」に、優先的に取り組むこととしています。

本年度は、下半期から、学校給食費及び園児の副食材料費の無償化を実施するなど、迅速な対応を図ってまいりましたが、令和8年度も引き続き、無償化に取り組んでまいります。

また、小中学校児童生徒の教育環境整備として、猛暑による熱中症などを防ぎ安全を確保するために、学校体育館への空調設備整備事業に着手します。段階的な取組みとして、令和8年度は中学校に、令和9年度以降は「高根沢町学校規模適正化基本計画」との整合を図りながら、小学校に整備を行います。また、学校体育館への空調設備整備事業は、災害時の避難所としての環境改善にも資する取組となります。

以上、町政運営に係る所信の一端を述べさせていただきましたが、改めて令和8年度は、新たな計画をスタートさせる年であるとともに、大きなプロジェクトが本格的に動き出す年でもあるという意味で、大変重要な1年になると考えておりますので、議員各位及び町民の皆さまのご理解、ご協力をお願いするものであります。

## 【予算編成について】

続きまして、令和8年度予算の概要について、ご説明申し上げます。

一般会計でございますが、予算規模は144億1千万円であり、前年度予算の131億1千万円と比較いたしますと、13億円の増額、率にして9.9%の増であり、過去最大の予算規模となっております。

歳入につきましては、個人町民税や固定資産税等の伸びや都市計画税の課税再開により、町税収入は、令和7年度当初予算から3億円余の増となる46億円余を見込んでおります。

歳出につきましては、少子高齢化などを背景とした扶助費の増、人件費や、物価の高騰などを背景とした委託料の増が見込まれるとともに、新庁舎の整備や阿久津中学校の改修などの普通建設事業費についても7億円余の増と見込んでいるところであります。

このような状況下で、令和8年度の予算編成に当たりましては、国県補助金や町債を最大限効果的に活用するとともに、施策・事務事業の選択と集中や、長期的な視点での優先付けを十分に精査することで、先ほど申し上げましたとおり、「持続可能なまちづくり」の理念のもとで、「ヒト」、「モノ」、「カネ」の見通しを立てながら、着実に、堅実に、未来への投資を行うこととしました。

主要な施策・事務事業につきまして、「高根沢町地域経営計画 2026」の6つの政策分野ごとに説明させていただきます。

・一つ目の「子ども・教育・生涯学習分野」につきましては、

まず、老朽化したのびのび保育園園舎改修のため設計業務を行います。

また、陽だまり保育園内に複合施設の一部として開始する学童クラブ及び子育て支援センターの新築工事に対し、事業費の助成を行います。

・二つ目の「健康・福祉分野」につきましては、

まず、障害者地域生活相談支援拠点整備に向けた検討を行ってまいります。

また、相談支援・居場所づくり・ネットワークづくりを一体的に実施する「ひきこもり支援ステーション事業」を開始し、孤独孤立に対するの包括的な一層の支援体制を構築します。

・三つ目の「産業振興分野」につきましては、

まず、土地改良事業の必要性に係る説明会を実施し、合意形成を図ります。

また、道の駅たかねざわ 元気あっぷむらの本館屋根外壁工事のための設計業務を行います。

・四つ目の「環境・社会基盤分野」につきましては、

まず、東町北区の町有地に浸透槽を設置するなど、雨水排水対策工事を実施します。

また、水道施設及び下水道施設の耐震化を実施します。

・五つ目の「安全・安心分野」につきましては、

まず、「消防団の力向上モデル事業」を活用し、消防団員の加入促進を図ります。

また、不測の災害に備えるため、備蓄品の充実を図ります。

・六つ目の「マネジメント分野」につきましては、

まず、住民課に「書かない窓口」を導入し、住民サービスの向上を図ります。

また、脱炭素化を普及促進するために、住民向け・事業者向けの支援メニューを拡充します。

## **【結び】**

以上、町政運営に係る私の所信の一端と、令和8年度当初予算案の概要について申し上げます。

人口減少など本町においても克服しなければならない課題が山積する状況にあります。そのような時であるからこそ、「明るい未来」に向け町民の皆様と想いを一つに、「ワクワク」するような気持ちでまちづくりを行ってまいりますので格別のご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。